

淡路島付近を震源とする地震について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成25年4月15日
16時00分現在
内閣府

1. 地震の概要（気象庁情報（暫定値））

- (1) 発生日時：平成25年4月13日5:33
- (2) 震源地：兵庫県淡路島付近（北緯34度25.1分、東経134度49.7分）
- (3) 震源の深さ：15km
- (4) 規模：M6.3
- (5) 各地の震度（震度5弱以上）
 - 震度6弱：兵庫県淡路市
 - 震度5強：兵庫県南あわじ市
 - 震度5弱：大阪府岬町、兵庫県洲本市、徳島県鳴門市、香川県東かがわ市、小豆島町
- (6) 津波の予警報の発表状況
なし

2. 余震の見通し

地震発生直後に比べ余震の数は減ってきているが、地震発生から1週間程度は、最大震度5弱程度の余震の発生に注意が必要

3. 人的・物的被害の状況（消防庁：4月15日15:00現在）

都道府県名	人的被害				住家被害						非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	計	公共建物	その他
			重傷	軽傷								
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
福井県			1									
大阪府			1	4			4			4		
兵庫県			5	12		26	1,786			1,812		8
岡山県				1								
徳島県				2			1			1		
合計			7	19		26	1,791			1,817		8

(1) 人の被害

- ・ 福井県（重傷者 1）
敦賀市：重傷者 1
- ・ 大阪府（重傷者 1、軽傷者 4）
堺市：軽傷者 2
茨木市：軽傷者 1
摂津市：軽傷者 1
大阪狭山市：重傷者 1
- ・ 兵庫県（重傷者 5、軽傷者 12）
神戸市：軽傷者 1
姫路市：軽傷者 1
明石市：重傷者 1、軽傷者 1
洲本市：軽傷者 6
伊丹市：重傷者 1
三木市：重傷者 1
南あわじ市：重傷者 1、軽傷者 1
淡路市：重傷者 1、軽傷者 2
- ・ 岡山県（軽傷者 1）
岡山市：軽傷者 1
- ・ 徳島県（軽傷者 2）
徳島市：軽傷者 1
阿南市：軽傷者 1

(2) 物の被害

- 住家被害 (1,817 棟)
 - ・ 半壊 (26 棟)
兵庫県洲本市：26 棟
 - ・ 一部破損 (1,791 棟)
大阪府 (4 棟)
阪南市：4 棟
兵庫県 (1,786 棟)
洲本市：1,222 棟
明石市：1 棟
南あわじ市：55 棟
淡路市：508 棟
徳島県 (1 棟)
北島町：1 棟
- 非住家被害
 - ・ 半壊 (8 棟)
兵庫県洲本市：8 棟

4. 避難の状況（消防庁：4月15日15:00現在）

（1）避難指示・勧告：発令なし

（2）避難所の状況

・兵庫県洲本市（洲本市総合福祉会館）

13日 5:55 開設

7:00 閉鎖

18:50 再開設（継続中）

15日 14:30 現在 2世帯2名が自主避難中

・兵庫県南あわじ市（西淡町松帆活性化センター）

13日 7:00 開設

8:00 閉鎖

5. 原子力発電所関係（原子力規制庁：4月13日6:45現在）

原発関連施設について、異常情報なし

6. その他の被害状況

（1）電力関係（経済産業省：4月13日15:00現在）

・関西電力(株)：設備被害等なし

・四国電力(株)：設備被害等なし

・中国電力(株)：設備被害等なし

・電源開発(株)：設備被害等なし

（2）都市ガス（経済産業省：4月13日15:00現在）

・被害情報なし。引き続き、被害情報収集中

（3）LPガス（経済産業省：4月13日15:00現在）

・被害情報なし。引き続き、被害情報収集中

（4）簡易ガス（経済産業省：4月13日15:00現在）

・兵庫県の簡易ガス事業者特定製造所内の感震自動遮断装置が作動し
合計3社6団地で供給停止（計800戸程度）。全て復旧済み。

(5) 水道関係 (厚生労働省 : 4月15日 13:00 現在)

・ 全て復旧済み

県、市町村名	最大 断水戸数	現在の 断水戸数	断水期間	被害状況
兵庫県 洲本市 淡路市	26戸 断水なし	復旧済み 断水なし	H25.4.13~	配水管損傷 配水管損 (断水なく復旧作業完了)
淡路市(簡易水道) 南あわじ市	50戸 3戸	復旧済み 復旧済み	H25.4.13~ H25.4.13~ H25.4.14	配水管損傷 復旧作業により夜間一時的 に断水
大阪府 東大阪市 門真市 大阪市	約80戸 2戸 15戸	復旧済み 復旧済み 復旧済み	H25.4.13 H25.4.13 H25.4.13	緊急遮断弁作動による断水 配水管破損 配水管損傷
徳島県 阿南市	29戸	復旧済み	H25.4.13	配水管損傷
	計約205戸	計 0戸		

(6) 通信関係 (総務省 : 4月15日 15:00 現在)

・ 特段の被害なし

(7) 放送関係 (総務省 : 4月15日 15:00 現在)

・ 特段の被害なし

(8) 土砂災害 (国土交通省 : 4月15日 13:00 現在)

・ 現時点で、土砂災害の被害情報なし

(9) 道路 (国土交通省 : 4月15日 13:00 現在)

○高速道路

- ・ 本四橋 (神戸淡路関門自動車道) :
全区間 (神戸西~鳴門) 速度規制解除 (4月13日 11:05)。
遮音壁の一部が落下 (5箇所)、車両通行に支障なし
- ・ NEXCO西日本関係 :
全区間規制解除 (4月13日 7:46)。路上点検完了、被災報告なし
- ・ 阪神高速 :
全区間規制解除 (4月13日 7:00)。路上点検完了、被災報告なし

○直轄国道

- ・被害3件（復旧済み）
- ・国道28号線（淡路市志筑）において、民家のブロック塀がカードレールに倒れ掛かっていたが、ブロック撤去完了（4月13日13:05～歩道通行可）
- ・国道28号線（洲本市炬口）において、路面下の水道管破裂、路面に漏水があったが、復旧完了（4月14日4:50）
- ・国道28号（洲本市炬口）において（上記箇所の約100m北側）、路面下水道管が破裂し路面漏水があったが、復旧完了（4月15日9:37）

○都道府県管理国道

- ・報告被害なし

○都道府県道

- ・被害2件
- ・兵庫県道534号線畑田組塚町線（兵庫県洲本市鮎屋）において落石、孤立集落なし。（行き止り道路で民家等はなし。復旧未定。）
- ・県道481号相川下清水線（兵庫県洲本市千種）において落石、孤立集落無し。行き止まり道路で民家等無し。復旧未定

(10) 鉄道（国土交通省：4月15日13:00現在）

- ・新幹線、在来線ともに被害情報なし
- ・現在、運転休止路線なし

(11) 農林水産関係（農林水産省：4月15日14:00現在）

区分	主な被害	被害数	被害額 (百万円)	被害地域 (現在1県から報告あり)
農作物等	ブロイラーの圧死	1,693羽	調査中	兵庫県
	ガラス温室の損傷	15棟	調査中	兵庫県
	家畜市場の損傷	1箇所	調査中	兵庫県
小計			調査中	
農地・農業用施設関係	農業用施設の損壊（ため池）	12箇所	調査中	兵庫県
小計			調査中	
水産関係	漁船	3隻	調査中	兵庫県
	漁港	8漁港	調査中	兵庫県
	共同利用施設（荷捌き施設）	1棟	調査中	兵庫県

小計			調査中	
合計			調査中	

注：被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

(12) 文教施設等（文部科学省：4月15日14:00）

区分	被災箇所数
国立学校施設	
公立学校施設	37
私立学校施設	4
社会教育・体育、文化施設等	
文化財	
研究施設等	
計	41

※主な被害状況：グラウンド亀裂発生、天井ボード落下、壁ひび割れ 等

※現在のところ、休校等の情報なし

(13) 病院等関係（厚生労働省：4月15日13:00）

- ・現在のところ、特段の被害報告なし

(14) 社会福祉施設関係（厚生労働省：4月15日13:00）

- ・兵庫県から49カ所で壁のひび割れなどの被害あり(人的被害報告なし)

(15) その他

○宅地（国土交通省：4月15日13:00現在）

- ・宅地の液状化について、兵庫県において14日に淡路市、洲本市及び南あわじ市における被災宅地危険度判定のための予備調査を行った結果について、以下のとおり報告があった。

①宅地に関する大きな被害は無し（練積みブロック擁壁にてクラック発生1箇所あり）

②臨海部の埋め立て地（非住宅地）において数カ所液状化が見られたが、宅地においては液状化被害は見られない。

③上記を受け、被災宅地危険度判定は実施しない。

- ・顕著な液状化現象が見られた場所は現在のところ淡路市、志筑地区の埋立地に集中。

○住宅・建築物（国土交通省：4月15日13:00現在）

- ・兵庫県洲本市、淡路市において15日から被災建築物応急危険度判定を実施。

○港湾施設（国土交通省：4月15日 13:00 現在）

- ・兵庫県津名港志築地区（淡路島）にて、岸壁（物揚場）が延長190mに渡り全面に傾き、背後のコンクリート床版との継ぎ目に5cm程度の隙間及び段差（盛り上がり）が生じている状況。

現在被災した段差箇所を解消するため応急措置を検討中。その間、バリケードによる立ち入り制限をかけている。

なお、当該施設は小型船の船溜まり場として利用されているため、施設利用には支障はない。

○がれきの発生状況（環境省：4月15日 14:00 現在）

	洲本市	淡路市	南あわじ市
仮置場の設定	市内3か所に設置	市内1か所に設置	市内処分場で受付
がれきの発生状況	集計中 (300件程度の持込みあり)	集計中 (77件程度の持込みあり)	11トン (4件の持込みあり)
廃棄物の種類等	瓦、土壁、ブロック塀、家財道具、陶器類	瓦、土壁、ブロック塀、家財道具、陶器類	瓦、土壁、ブロック塀、家財道具、陶器類

7. 政府の主な対応

- ・官邸対策室設置、緊急参集チーム招集(4月13日 5:36)
- ・総理指示(4月13日 5:40)

- ① 被害情報の確認に万全を期すこと
- ② 被害者の救出・救助活動に全力を尽くすこと

- ・緊急参集チーム協議(4月13日 6:10~7:00)

(確認事項)

- ①被害情報の収集に万全を期すとともに、人命救助を第1義とし、住民の避難、被災者の救援救助活動に全力を尽くす。
- ②被害の状況に応じ、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣部隊、海上保安庁の救援救助部隊、災害医療派遣チーム(D-MAT)等による被災地への広域応援を行い、被災者の救援・救助をはじめとする災害応急対策に万全を期す
- ③災害応急対策の実施にあたっては、自治体と緊密な連携を図る
- ④被災地の住民をはじめ、国民や地方自治体、関係機関が適切に判断し行動できるよう、的確に情報を提供する。

- ・緊急参集チーム協議再開(4月13日 8:58~9:08)

- ・ 第 1 回関係省庁災害対策会議を開催し、以下の対処方針を確認した。
(4 月 13 日 13:00)
 - ①引き続き早急な被害状況の把握を行い、関係機関の情報共有を図ること
 - ②更なる被害の拡大の防止に万全を期すこと
 - ③被災県、関係市町村と連携し、災害応急対策につき、政府一丸となった対応を行うこと
- ・ 第 2 回関係省庁災害対策会議を開催し、被害状況及び各省庁の対応状況について情報共有を行った (4 月 13 日 17:00)
- ・ 第 3 回関係省庁災害対策会議を古屋内閣府特命担当大臣 (防災)、西村内閣府副大臣出席 (防災担当) のもと 4 月 15 日 17:00 から開催予定。

8. 各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・ 内閣府災害対策室設置 (4 月 13 日 5:35)
- ・ 古屋内閣府特命担当大臣 (防災) から西村内閣府副大臣 (防災担当) に現地調査を行うよう指示 (5:37)
- ・ 西村内閣府副大臣 (防災担当) が 6:45 からの兵庫県災害対策本部会議に出席。その後、兵庫県知事と淡路島を現地調査
- ・ 古屋内閣府特命担当大臣 (防災) が兵庫県知事及び西村内閣府副大臣 (防災担当) と電話で情報交換 (7:15)
- ・ 現地調査のため職員 3 名を派遣 (8:10)。古屋内閣府特命担当大臣 (防災) から西村内閣府副大臣 (防災担当) と合流し、現地調査を行うよう指示
- ・ 古屋内閣府特命担当大臣 (防災) と兵庫県知事との間でテレビ会議を実施 (10:37~10:45)
- ・ 西村内閣府副大臣 (防災担当) が現地調査を実施 (4 月 13~14 日)
- ・ 「平成 25 年 4 月 13 日に発生した淡路島付近を震源とする地震による被災者の支援について (平成 25 年 4 月 13 日付事務連絡)」を大阪府、兵庫県、徳島県、香川県に発出。 (4 月 13 日)

②警察庁の対応

- ・ 警備局長を長とする災害警備本部を設置
- ・ 中国、中部管区内の広域緊急援助隊が出動待機 (4 月 13 日 9:15 解除)

③消防庁の対応

- ・ 消防庁災害対策本部 (継続中)
- ・ 兵庫県から緊急消防援助隊の要請なし。出動準備を解除 (4 月 13 日 8:00)

④海上保安庁の対応

- ・海上保安庁対策本部を設置(4月13日 5:36)
- ・巡視船艇 29 隻、航空機 4 機による被害状況調査終了、被害に関する情報なし(4月13日)
- ・兵庫県の災害対策本部に職員 1 名派遣(4月13日)
- ・巡視船艇及び航空機を即応態勢とし、被害情報を収集中(4月14~15日)

⑤防衛省の対応

- ・航空機 15 機により情報収集を実施。被害は確認されなかった。(4月13日)

⑥総務省の対応

- ・総務省非常災害対策本部(継続中)

⑦経済産業省の対応

- ・職員を兵庫県淡路市に派遣し、中小企業関係被害情報収集を実施(4月13日)

⑧文部科学省の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室設置(4月13日 7:10)
- ・兵庫県、大阪府、徳島県、香川県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害状況の把握、二次災害防止を要請(4月13日 7:12)

⑨農林水産省の対応

- ・農業用施設の現地調査のため、近畿農政局の職員 8 名を派遣(4月13日)
- ・連絡調整のため、近畿農政局の職員 3 名を兵庫県庁に派遣(4月13日)
- ・農業用施設の現地調査のため、農林水産本省担当官 2 名、近畿農政局の職員 2 名及び農村工学研究所の専門家 2 名を派遣(4月15日)

⑩国土交通省の対応

- ・国土交通本省非常体制(4月13日 5:33)
- ・淡路島付近を震源とする地震に関する災害対策本部設置(4月13日 5:33)
- ・災害対策用ヘリコプター(四国、九州地整)により TEC-FORCE(先遣隊)が淡路島上空を調査(4月13日)
- ・近畿地方整備局より、兵庫県庁、洲本市、淡路市、南淡路市へ計 8 名リエゾンを派遣(4月13~14日)
- ・(独)土木研究所より、洲本市州浜橋の被害に関し、16日に専門家 2 名を派遣予定

⑪気象庁の対応

- ・ 気象庁非常体制（4月13日5:33）
- ・ 記者会見（4月13日7:30）
- ・ 震度6弱から5弱が観測された地域を中心に大阪管区気象台、神戸管区気象台、高松地方気象台から気象庁地震機動調査班（JMA-MOT）を派遣
- ・ 淡路市及び南あわじ市の土砂災害警戒情報発表基準及び大雨警報・注意報の発表基準を引き下げて運用
- ・ 神戸海洋気象台から兵庫県及び淡路島3市（淡路市、洲本市、南あわじ市）に対して気象支援資料を提供